

ギリシャ概況(2018年3月号)

1. 内政

- ・1日 政府が小規模な内閣改造を実施。経済・開発大臣にヤニス・ドラガサキス副首相、移民政策大臣にディミトリオス・ヴィツァス前国防副大臣、国防副大臣にフォティス・クヴェリス氏、教育・学術・宗教政務官にメロピ・ツフィ氏、労働副大臣にアサナシオス・イリオプロス氏、文化・スポーツ政務官にコンスタンディノス・ストウラティス氏が就任した。
- ・29日 国会にて非議員閣僚の住居手当に関する法律が廃止された。右廃止は本法律が実施された2015年2月1日から遡及効を有する。

2. 外政

- ・1～2日 ゴッテモラーNATO事務次長がギリシャを訪問し、カメノス国防相と会談した。
- ・5日 キプリアヌ・キプロス労働者進歩党(AKEL)党首がギリシャを訪問し、チプラス首相と会談した。
- ・5～6日 フリストドゥリディス・キプロス外相がギリシャを訪問し、パヴロプロス大統領、チプラス首相及びコジラス外相と会談した。
- ・6日 カメノス国防相がブリュッセルを訪問し、NATO国防相会議に出席した。
- ・8日 ヴィツァス移民政策相及びムザラス前移民政策相がブリュッセルを訪問し、EU司法・内務理事会に出席した。
- ・9日 カメノス国防相がルーマニアを訪問し、フィフォル国防相と会談した。
- ・同日 クドゥラ観光相が独を訪問し、旅行見本市「ITBベルリン」に出席した。更に本イベントのマーゲンにて、マシャート・エジプト観光相及びラコトウリピス・キプロス観光相と会談した。
- ・11日 カメノス国防相がアンゲリディス・キプロス国防相とともにキプロス・パフォス市のアンドレアス・パパンドレウ空軍基地を訪問。
- ・12日 コジラス外相がルーマニアを訪問し、ギリシャ・ルーマニア・ブルガリア3か国外相会議に出席した他、ダンチラ・ルーマニア首相と会談した。
- ・12日～15日 ミツオタキスND党首が米国を訪問し、リー上院議員及びヒル国家安全保障会議欧州ロシア担当首席顧問等と会談した他、ボストン大学でスピーチを実施した。
- ・13～14日 レベロデソウザ・ポルトガル大統領がギリシャを訪問し、チプラス首相と会談した他、パヴロプロス大統領主催の夕食会に出席した。更に、中央ギリシャ地方ヴィオティア県に位置するシヴァの移民受け入れ施設を訪問した。
- ・13～15日 クドゥラ観光相が露を訪問し、マニロヴァ露副観光相と会談した他、モスクワ国際旅行観光見本市に出席した。
- ・14日 レヴィン露農業省次官がギリシャを訪問し、ドラガサキス副首相兼経済・開発

相と会談した。

・15日 ミッチェル米国務次官補がギリシャを訪問し、コジラス外相を表敬訪問した他、カメノス国防相及びアポストラキス幕僚長と会談した。

・19日 コジラス外相がブリュッセルを訪問し、EU外相理事会に出席した。

・20日 コジラス外相がエジプトを訪問し、アッ=シーシー大統領及びシュクリ外相と会談した。

・同日 ミツォタキスND党首がカタールを訪問し、アール・サニーニー首長と会談した。

・22日 ミツォタキスND党首がブリュッセルを訪問し、欧州人民党会合に出席した。

・22～23日 チプラス首相がブリュッセルを訪問し、EU首脳会議に出席した。更に本会議のマージンにて、マクロン仏大統領及びメルケル独首相と会談した。

・22～23日 コジラス外相が FYROM を訪問し、ザエフ首相及びディミトロフ外相と会談した。

・23～25日 アンゲリディス・キプロス国防相がギリシャを訪問し、パヴロプロス大統領及びカメノス国防相と会談した。更に、ギリシャ独立記念日パレードに出席した。

・26～27日 チャクラバルティ欧州復興開発銀行総裁がギリシャを訪問し、チプラス首相及びドラガサキス副首相と会談した。

・29日 コジラス外相がアルバニアを訪問し、ブシャティ外相と会談した。

・同日 カメノス国防相がアルメニアを訪問し、サルグシャン大統領及びナルバンジャン外相と会談した他、防衛技術フェア「ArmHiTec 2018」に出席した。

・同日 アヴラモプロス欧州委員(移民問題担当)がギリシャを訪問し、チプラス首相及びヴィツアス移民政策相と会談した。

・29～30日 コジラス外相が FYROM を訪問し、ニミツフ FYROM 名称問題国連事務総長特別顧問仲介の下、ディミトロフ外相と FYROM 名称問題に関する交渉を行った。

3. 移民・難民問題

2月28日 ギリシャに滞在する移民・難民は50,800名 (UNHCR 発表)。

4. 経済

(1) 対ギリシャ第3次支援プログラム

・2月26日～3月1日 債権団代表らがギリシャを訪問し、第3次ギリシャ支援プログラムの第4次審査に係る交渉が開始された。

・2日 ユーロワーキンググループが開催され、第3次ギリシャ支援プログラムの第3次審査完了の条件となっていたエリニコ開発と電子競売に十分な進捗が見られたとして、57億ユーロの融資実施が決定された。

・12日 ユーログループにて、第3次ギリシャ支援プログラムの第3次審査完了及び第4次審査の見通し等につき協議された。

- ・27日 ESM(欧州安定メカニズム)取締役会で、ギリシャに対する総額67億ユーロの融資及び57億ユーロの融資実施が承認された。
- ・28日 ESMがギリシャに対し、57億ユーロの融資を実施した。

(2) 経済動向

- ・1日 資本規制が緩和され、現金引き出し上限額が月1,800ユーロから2,300ユーロに引き上げられた他、海外への持ち出し上限額が2,000ユーロから2,300ユーロに引き上げられた。
- ・6日 ギリシャ鉄道メンテナンス会社 EESSTY(ROSCO)の入札に、イタリア鉄道 Ferrovie dello Stato Italiane がギリシャ鉄道 TRAINOSE を介して応札した。
- ・14~16日 ギリシャ船用工業品輸出組合 HEMEXPO がシンガポールで開催された国際海事展アジア・パシフィック・マリタイムに参加した。
- ・16日 日本のたばこ会社 JTI がロシアのたばこ会社 Donskoy Tabak とギリシャのたばこ会社 SEKAP の株式を取得することに合意した。
- ・21日 ギリシャ政府とスタヴロス・ニアルコス財団が病院の設立や医療機器などの供給に2億ユーロ以上を寄付する旨の提携覚書に署名した。
- ・22日 South Europe Gateway Thessaloniki がテサロニキ港の67%株式を取得するため、2億3,190万ユーロを支払った。
- ・23日 テサロニキ港の67%株式が South Europe Gateway Thessaloniki に譲渡された。
- ・26日 South Europe Gateway Thessaloniki Ltd.がテサロニキ港の運営を開始した。また、ソティリオス・セオファニス氏が右合弁会社社長に就任した。

(3) 財政

ギリシャ財務省が3月14日付で公表した1月から2月の財政統計によると、1月から2月の財政収支は15億4,300万ユーロの黒字、同期間のプライマリーバランスは27億5,200万ユーロの黒字となった。同期間の歳入は89億7,600万ユーロで政府目標11億3,500万ユーロ(14.5%増)上回り、歳出は74億3,300万ユーロと政府目標より3億1,000万ユーロ低く抑えられた。

(4) 輸出入

ギリシャ統計局の3月9日付の発表によると、1月の輸入総額は45億2,110万ユーロ(前年同月比1.1%増)、輸出総額は25億3,690万ユーロ(前年同月比18.5%増)となった。

(5) 観光業

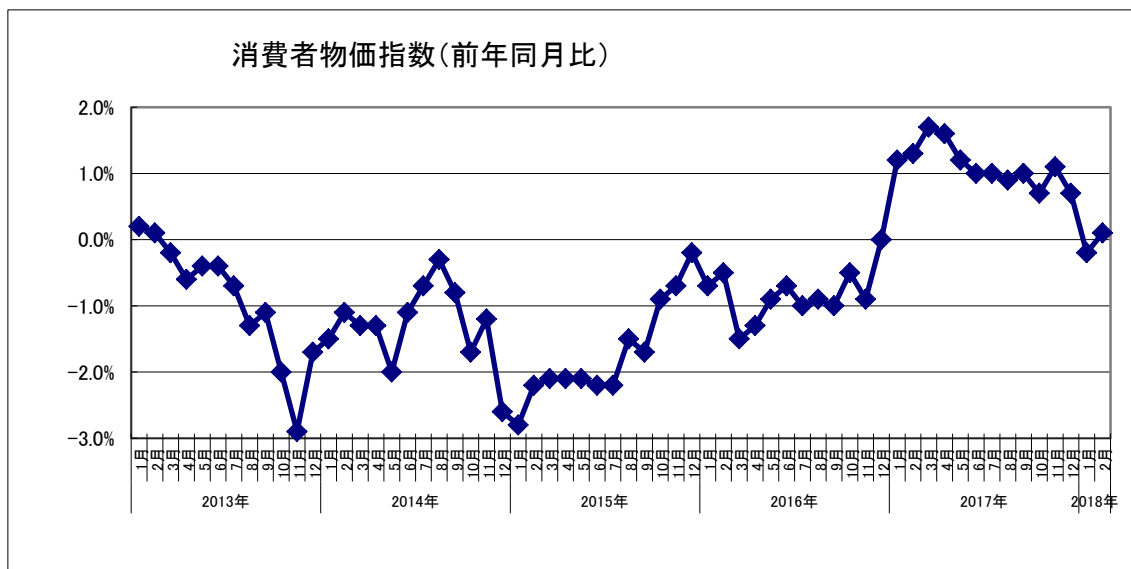
ギリシャ観光業協会(SETE)の発表によると、1月の観光客は、34万1,955人で、前年同月比17.0%増となった(国内主要空港の観光客到着数(暫定値)ベース)。内訳は、アテネ空港が25万1,316人で(同22.4%増)で、テサロニキ空港が7万2,250人(同

14.1%減)となった。

5. 経済指標

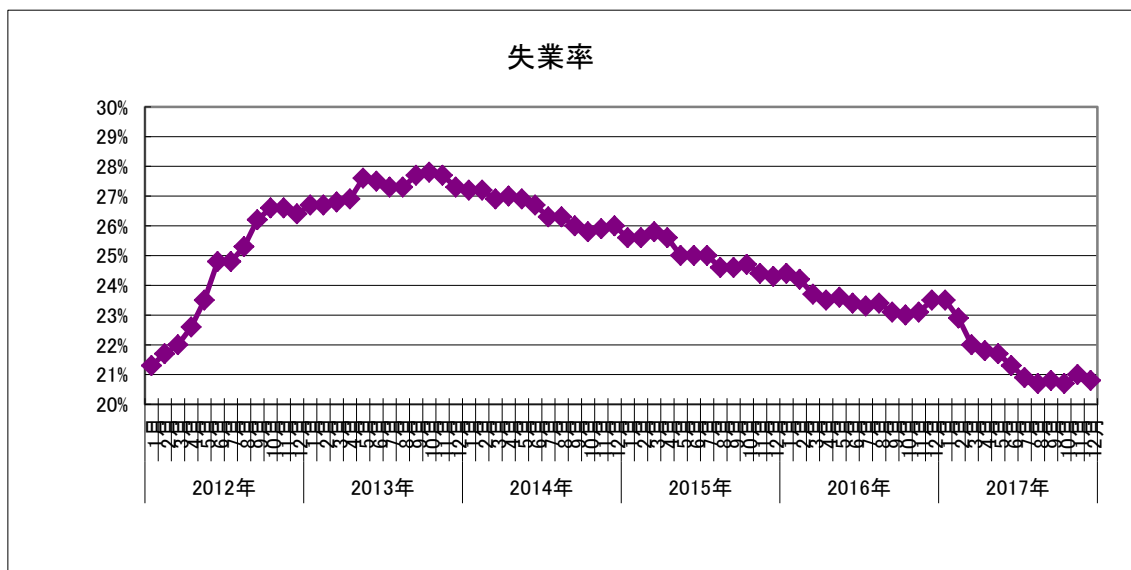
(1) 消費者物価指数

ギリシャ統計局の3月9日付の発表によると、2月の消費者物価指数は前年同月比0.1%増となった。



(2) 失業率

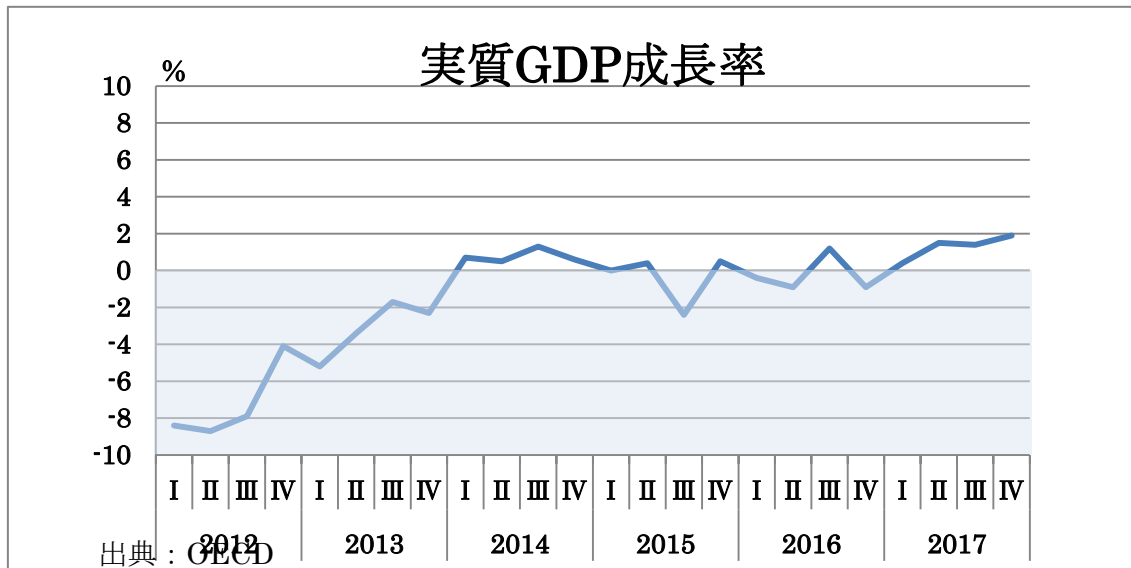
ギリシャ統計局の3月8日付の発表によると、12月の失業率は20.8%となり、前月から0.2%減少した。



※2017年11月の失業率は、ギリシャ概況(2018年2月)公表後、ギリシャ統計局により20.9%から21.0%に修正されており、本号では当該修正後の数字を使用した。

(3) GDP

OECD のデータによると、2017 年第 4 四半期(10 月～12 月)の実質 GDP 成長率は前年同期比プラス 1.9%となった。



※ギリシャ概況(2018年2月)公表後、2016年第2四半期、2017年第2及び第3四半期の実質成長率はOECDにより修正されており、本号では当該修正後の数字を使用した。

※この概況は各種報道・公表資料を基に作成した。

※過去のギリシャ概況情報は以下のURLを参照してください。

http://www.gr.emb-japan.go.jp/itpr_ja/greece_general_reports_list.html

(了)